

2017年度（平成29年度）自動走行実証実験について

2018年3月5日
福山市企画政策課

1 2017年度（平成29年度）実施概要

- ・高齢者の移動手段の確保など地域課題を解決するための手法として、自動走行（自動運転）技術が地域住民のニーズを満たせるかなどの調査・検証を行う。
- ・実証実験等をきっかけに、次世代をけん引する人材の育成や将来性の高い新産業の基盤づくりに向けた機運を醸成する。

2 実施日

2018年（平成30年）3月1日（木）、2日（金）の2日間

- (1) 公道での実証実験 3月1日（木）～2日（金）（実験開始式は3月1日（木））
- (2) 自動走行についてのセミナー 3月2日（金）

3 実証実験実施場所

日吉台学区内

4 実施主体

福山市（群馬大学への委託により実施）

5 実施結果概要

(1) 公道での実証実験

ア 試乗人数 120人程度

イ 意見交換会での意見

肯定的な意見が多かった。自動走行システムへの質問が何点かあった。

(例)・素晴らしい経験、貴重な体験をさせてもらった。

・十字路等の一旦停止などについて、少し課題があると感じる。

・テストドライバーが周囲の安全を確認した後発進していたが、必要なことなのか。

(2) 自動走行についてのセミナー 60人程度聴講

6 今後の展開

- ・今年度実施した実験の成果を踏まえ、次年度以降も引き続き、中山間地域などにおける高齢者の移動手段の確保を始めとする地域課題解決に取り組む。
- ・次世代をけん引する人材の育成や将来性の高い新産業の基盤づくりを行うことで、若年層の人材還流と定着を目指す。

2018.3.2 中国

団地で自動走行実験

福山市 高齢者の交通確保へ



福山市内の団地内を走る
自動運転の実験用車両

福山市は1日、高齢者の交通手段の確保など地域課題の解決に向け、乗用車の自動走行の実証実験を市内の郊外団地で始めた。広島県内初の試みで、自動運転技術の研究で実績がある群馬大と連携。データやノウハウを蓄積し、2019年度までの3カ年で実現可能性を検証する。

実験場所は高齢化が進む人口約7400人の日吉台学区。住民たちが市の委託を受け、高齢者の外出支援

で送迎を担う一方、ドライバーの高齢化が課題に挙げられている。

この日、群馬大次世代モビリティ社会実装研究センター（群馬県桐生市）が実験を始めた。車両に建物や信号機などの情報を入力したシステムのほか、人や障害物を把握するセンサーや全方位カメラを搭載。住民たちを乗せ、時速約20キロで約1キロの公道をコンピュータ制御で走った。同乗した枝広直幹市長は

「想像以上に技術が進んでいる。自然な走りで高齢者の移動手段に有効」と話した。同学区町内会連合会の中野孝会長は「期待感が高まる」と喜んだ。実験は2日も続ける。

事業費は500万円。市は18年度も一般会計当初予算案に1千万円を計上した。市民の安全性への理解や企業の技術力向上につなげ、観光分野での活用なども探る。

自動運転を巡り、政府は20年までに限定地域での無人走行車の移動サービス導入を目指す。中国地方では、国土交通省が島根県飯南町や新見市で展開している。

（胡子洋）

2018.3.2 山陽

自動運転車を実証実験

高齢者の移動手段確保など 将来的な導入検討

福山市は1日、自動車の自動運転技術の実用化に向けた県内初の実証実験を日吉台学区で始めた。2日までの日程で自動走行システムを備えた車が地域住民らを乗せて学区内を回り、走行データを収集する。

「いきなり、観光にも役立てられれば」と話していた。

2日は山陽自動車道北にある蔵王町の住宅団地を巡るルート(約1き)でも実験し地元住民らが試乗する。午後3時からは丸之内の福山大宮地蔵記念館でセミナーを実施。群馬大の研究者が、自動運転への取り組みについて講演する。定員70人。聴講無料。

福山市では2019年度末まで市内で同様の実験を継続し、将来的な自動運転導入に向けた検証を行う。(洞井 孝太)

県内初の公道

実験は、高齢者の移動手段確保など地域課題の解決につなげる狙い。自動運転の研究に

取り組む群馬大の協力を受け、レーザーセンサーやカメラなどを備えた自動運転車両を使用。日吉台公民館を中心とした周回約1き

住宅街を3時間半にわたり走行した。地図データやセンサー、カメラからの情報を基に時速約20きで進行。自動でハンドルを切りたりブレーキを踏いたりするなど安定した走りを見せた。



日吉台学区を自動走行する車。上部にレーザーセンサーやカメラなどが搭載されている。

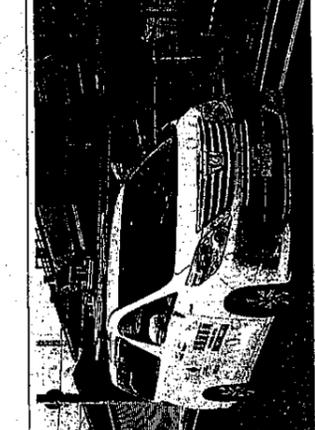
地域で高齢者の送迎支援を行っている同学区の町内会連合会長・中野孝さん(72)は試乗後、「スムーズな走りや安全だと分かった。地域がより便利になるのではと希望が持てた」と述べ、枝広直幹市長は「新たな技術で新しい地域づくりをし

自動運転 福山市が実験

「高齢者の移動手段に」市目指す

将来的な高齢者の移動手段などに自動運転車を用いることを目指して、福山市は1日、同市日吉台地区の公道で自動運転車を走らせる実証実験を行った。枝広直幹市長も試乗した。自動運転車両の開発を進める群馬大に委託して、2日までの日程で。市は2018年度

当初予算案にも1000万円を計上しており、4月以降も実験を行っていく予定。高齢者の外出をサポートする車による送迎で支援している日吉台地区の住民らが協力した。



実証実験で公道を走る自動運転車(福山市で)

ミニバン車両を改造したもの。障害物を感知するセンサーや360度を周視させるカメラ、人工衛星で現在位置を計測するためのアンテナを搭載。実験では、運転手は乗車したものの、ハンドルやアクセル、ブレーキは操作せず、直進や加速、右左折、ウイカーの点滅、交差点での停止などを自動で行った。

約1きの区間を乗った枝広市長は「高齢者の移動手段を確保できるシステムに育ってほしい」と期待、日吉台学区町内会連合会の中野孝会長(72)は「運転がスムーズで、不安はなかった」と話した。

福山市と群馬大研究センター

公道で自動運転実証実験

福山市の日吉台学区で1日、公道を使った自動運転車の実証実験が始まった。高齢者の移動手段の確保などを狙い、路線バスなど走行ルートを限定した自動運転技術開発に取り組む群馬大次世代モビリティ社会実証研究センター(群馬県桐生市)に福山市が委託した。実証実験は国内各地で進んでおり、県内では初めて。試乗した枝広直幹市長は「自然な運転で驚くほどスピードを感じた。想像以上に技術は進んでいる」と実用化に期待した。(松井 勇介)

市長試乗 住宅街1きを走行

あらかじめプログラムされた走行ルートを、全地球測位システム(GPS)や障害物を認識する



実証実験前に自動運転車の前で手を握る(左から)小栗津勲町長と枝広市長、町内会連合会の中野孝会長

県内で初実用化に期待

レーザーなどを確認しながら走る仕組み。車体の屋根に設置したカメラやレーザー、GPSアンテナで、周囲の色や位置情報を把握し、車内のコンピュータへ送る。アクセルやブレーキ、ハンドルが自動制御される。警察庁のガイドラインに基づき、追い越し時などは運転手が手動で支障する。この日の実験では、住宅街の約1きを5分かけて走った。

実験は2019年度末まで、2日は同市蔵王町で、車や歩行者が滞在する



あることが今の日本の一大課題。自動運転に触れてもらうと同時に、市と協力して、福山モデルを作り込み、地域の足をより便利にしたい」と話した。日吉台学区町内会連合会の中野孝会長は「実用化が進み、地域の足になるよう期待している」と話した。

自動運転で地域課題解決を



実証実験で走る自動運転車について説明を受ける枝広直幹市長(中央)ら

福山で県内初の実証実験

自動車の自動運転技術が高齢者の移動手段確保など地域課題の解決につなげる実証実験が1日、福山市で始まった。実際に自動運転の車を走らせて検証する県内初の取り組み。この日は開始セレモニーの後、日吉台学区の公道で、自動運転車に住民らが試乗した。

使用する車両は、実験の技術面を担う群馬大次世代モビリティ社会実証研究センターから持ち込んだ。障害物や周囲の地形などを感知するレーザーセンサー、交通信号などを識別する方位カメラ、精度の高い位置情報が得られるGPSアンテナなどを備えており、「飛び出しに注意すべき交差点」などのデータを

自動運転の研究を進めている同センターに、システム整備に向けた実験の場となることを市が申し入れて実現。新年度からの本格実施に向け、今回の結果などを踏まえて、期間や頻度を含めた実証実験の進め方を検討するとしている。

今回の実証実験は2日間の日程で、2日には蔵王町の住宅地での試乗などを行う。枝広直幹市長は「自動運転については全国さまざまな機関が研究を進めているが、群馬大の研究が福山の現状に即しており、成果が上がる可能性が高いと判断してお願いした。安全で便利な市民生活の実現に向けて、大きな力になると期待している」と話した。

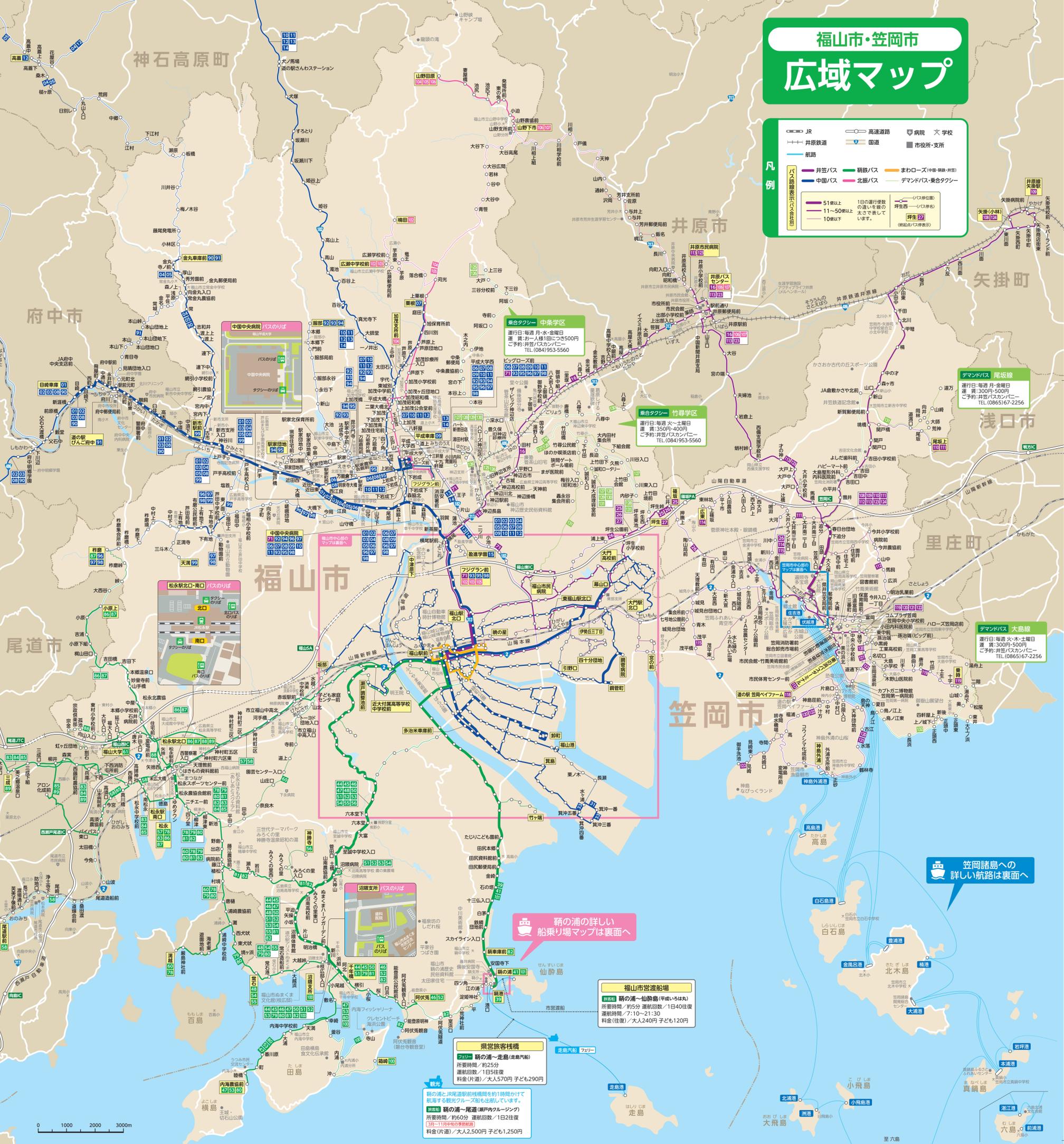
福山市・笠岡市 広域マップ

凡例

- JR
- 高速道路
- 病院
- 学校
- 井原鉄道
- 国道
- 市役所・支所
- 井笠バス
- 新緑バス
- まわりバス(中継・乗換)
- 中国バス
- 北振バス
- デマンドバス・乗合タクシー

バス路線表示の凡例

- 51以上 1日の運行便数の多い路線
- 11~50以上 1日の運行便数の多い路線
- 10以下 1日の運行便数の少ない路線
- バス停(バス停留所)
- バス停(バス停留所)
- バス停(バス停留所)



笠岡諸島への
詳しい航路は裏面へ

新の浦の詳しい
船乗り場マップは裏面へ

福山市笠岡渡船場

路線 新の浦～仙酔島(平成はるはる)
所要時間 約5分 運航回数 1日40往復
運航時間 7:10~21:30
料金(往復)/大人240円 子ども120円

東宮旅客機橋

路線 新の浦～足島(準急汽船)
所要時間 約25分
運航回数 1日1往復
料金(片道)/大人570円 子ども290円

新の浦と尾道新緑汽船

所要時間 約60分 運航回数 1日2往復
(3月~11月の季節運行)
料金(片道)/大人2,500円 子ども1,250円

LED行き先表示の見方

福山エリアでは、どのバスに乗ればよいか分かりやすい路線番号表示を導入しました。ターミナルの乗場番号を見事とし、3桁の行き先番号を1桁表示します。

福山駅 62

福山駅 62

福山駅 62

福山市 バス系統一覧(駅発着)

路線名	発着地	運行系統	乗車回数	運行会社
府中線	府中駅	山守	11 01	井笠バス
近辺線	近辺地区	新市・高屋	11 01	井笠バス
加茂線	加茂地区	中国中央病院	12 03	中国バス
平城線	平城地区	中国中央病院	12 03	中国バス
西川線	西川地区	中国中央病院	12 03	中国バス
山守線	山守地区	中国中央病院	12 03	中国バス
尾道線	尾道地区	尾道	21 17	井笠バス
早瀬線	早瀬地区	早瀬	21 17	井笠バス
大瀬線	大瀬地区	大瀬	21 17	井笠バス
早瀬線	早瀬地区	早瀬	21 17	井笠バス
大瀬線	大瀬地区	大瀬	21 17	井笠バス

福山市 バス系統一覧(その他)

路線名	発着地	運行系統	乗車回数	運行会社
川口線	川口地区	福山駅前	41 03	井笠バス
福山線	福山駅前	福山駅前	41 03	井笠バス
真島線	真島地区	福山駅前	42 01	井笠バス
西川線	西川地区	福山駅前	43 01	井笠バス
車道線	車道地区	福山駅前	44 01	井笠バス
三笠線	三笠地区	福山駅前	45 01	井笠バス
明玉台線	明玉台地区	福山駅前	51 01	井笠バス
新緑線	新緑地区	福山駅前	61 01	井笠バス
尾道線	尾道地区	尾道	61 01	井笠バス
早瀬線	早瀬地区	早瀬	61 01	井笠バス
大瀬線	大瀬地区	大瀬	61 01	井笠バス
早瀬線	早瀬地区	早瀬	61 01	井笠バス
大瀬線	大瀬地区	大瀬	61 01	井笠バス

笠岡市 バス系統一覧

路線名	発着地	運行系統	乗車回数	運行会社
笠岡線	笠岡駅前	笠岡駅前	81 01	中国バス
大谷線	大谷地区	笠岡駅前	81 01	中国バス
山守線	山守地区	笠岡駅前	81 01	中国バス
大谷線	大谷地区	笠岡駅前	81 01	中国バス
山守線	山守地区	笠岡駅前	81 01	中国バス
尾道線	尾道地区	尾道	91 01	中国バス
早瀬線	早瀬地区	早瀬	91 01	中国バス
大瀬線	大瀬地区	大瀬	91 01	中国バス
早瀬線	早瀬地区	早瀬	91 01	中国バス
大瀬線	大瀬地区	大瀬	91 01	中国バス

乗合タクシー・デマンドバス 系統一覧

エリア	路線名	発着地	運行系統	乗車回数	運行会社
中条学区	中条学区	中条学区	中条学区	01 01	中国中央病院
竹野学区	竹野学区	竹野学区	竹野学区	01 01	中国中央病院
笠岡	笠岡線	笠岡駅前	笠岡駅前	01 01	井笠バス
笠岡	尾道線	尾道	尾道	01 01	井笠バス
笠岡	早瀬線	早瀬	早瀬	01 01	井笠バス
笠岡	大瀬線	大瀬	大瀬	01 01	井笠バス
笠岡	早瀬線	早瀬	早瀬	01 01	井笠バス
笠岡	大瀬線	大瀬	大瀬	01 01	井笠バス

※バス系統の一覧は平日の運行便数です。※この公共交通マップに記載されている内容は2018年(平成30年)4月1日現在の情報に基づいたもので、路線変更などにより、ご乗車の際は最新情報と異なる場合がございますので、予めご了承ください。